

長風如刀剪枯葉　大河似箭浮輕舟　投石入水豈有礙　走丸下坂安得留

【読み】

長風は刀のごとく枯葉を剪（き）り、大河は箭（や）のごとく輕舟を浮かぶ。石を投じて水に入るも、豈（あに）礙（さまた）げ有らんや　丸（たま）を坂を下りて走らすも安くんぞ留むるを得ん。

【意味】

強い風が吹き荒れ、まるで刀で枯れ葉を切り裂くようだ。広い川は速い流れとなり、小舟がまるで矢のように流されていく。石を水に投げ入れても水の流れを止めることはできないし、坂を転がる玉を止めることもできない。

*長風…非常に遠くから吹いてくる風。また、遠くまで吹いていく強い風。勢いの盛んなことにたとえていう。*剪…切り裂く　*箭…矢

【出典】易言（韋応物・盛唐）